



10月1日は「コーヒーの日」 将来、コーヒーが飲めなくなる可能性があるって本当？

10月1日は「コーヒーの日」です。1983年に全日本コーヒー協会によって制定され、現在では国際コーヒー機関(ICO)や国連も10月1日を「コーヒーの日」としています。



コーヒーの値上げが止まらない理由

最近「コーヒーが高くなった」と感じることはありませんか？
価格高騰の大きな理由の一つが気候変動です。ブラジルやベトナムなどの主要産地では、地球温暖化による干ばつや大雨などの影響で、不作や農地の減少が起きています。さらに、中国やインドなどでコーヒーの需要が高まり、需要が増えていることも価格上昇の要因です。今後、コーヒー豆が不足するのではという懸念から、価格がさらに上昇する可能性もあります。

2050年にはコーヒーが高級品に？

コーヒーには、将来的な「2050年問題」もあります。このまま気候変動が進むと、コーヒー豆の栽培に適した土地が大幅に減少する可能性があるといわれています。特に、世界で多く流通しているアラビカ種は、暑さや干ばつ、大雨、害虫などの影響を受けやすい品種です。将来、コーヒーが今よりずっと高価になり、気軽に飲めなくなる可能性もあります。すでにコーヒー農家では、AIを活用した栽培技術や、農園に木を植えて暑さからコーヒーの木を守る取り組みなどが始まっています。

これからもおいしいコーヒーを楽しむように、10月1日の「コーヒーの日」をきっかけに、環境問題やコーヒーの未来について考えてみませんか？

いざという時のために！災害時に役立つスマホの通信対策

災害時、スマホは命を守るための重要な情報源です。しかし地震や豪雨などの発災直後は、多くの人が一斉に連絡を試みるため、電話がつなかりにくくなる可能性があります。確実に情報を伝え、家族の安否を確認するためにも、平時から通信手段を知り、備えておきましょう。



基本は「通話より軽い通信を使う」こと。電話は回線を長時間占有するため、家族や知人への連絡にはSMS・メール・LINEなどの短いテキストを利用し、「無事」「現在地」「次の行動」を簡潔に伝えます。

画像や動画の送信は控え、低データモードや省電力モードでバッテリー消費も抑えましょう。

安否確認の 手段を 知っておこう

安否確認には、NTTの「災害用伝言ダイヤル(171)」や「災害用伝言板(web171)」が役立ちます。171は電話番号を使って音声メッセージを残せ、web171では携帯電話番号などをキーに文字情報を登録できます。毎月1日・15日などに体験利用ができるため、家族で一度試しておくことで安心です。LINEの「安否確認(Safety Check)」も便利な機能です。大規模災害時にはアプリに通知が届き、「無事」「被害あり」などの状況をワンタップで登録できます。友だちが一覧で確認できるため、個別の連絡を減らし、通信負荷の軽減にもつながります。

通信インフラの被災に備えて、「JAPANローミング」も知っておきたい仕組みです。契約しているキャリアの基地局が使えない場合に、他社のネットワークを一時的に利用できます。また、大規模災害時には避難所や公共施設で無料Wi-Fi「00000JAPAN」が開放されることもあります。さらに、LINEの「衛星モード」など、基地局が使えない状況でもテキストや位置情報を送れる新しい通信手段も登場しています。利用条件があるため、対応状況を事前に確認しておきましょう。

最後に、家族や職場で「連絡ルール」を決めておくことも大切です。集合場所や避難先を共有し、発災直後は無理に連絡を試みず、落ち着いてから安否を登録するなど、行動の優先順位を決めておきましょう。スマホの充電手段も備えておけば、長期の停電にも安心です。

★ チラシ・フライヤー・会社案内・名刺など
デザイン制作・印刷 お任せ下さい！

★ ホームページ制作お任せ下さい！！
オリジナルデザインで更新しやすいホームページを！
今あるホームページの編集作業もお任せ！！

◎ パソコン本体・周辺機器のご購入やパソコントラブル
ご相談下さい！

◎ パソコン教室 無料体験実施中！



株式会社 マデコム



〒510-8122 三重県三重郡川越町豊田 659-1
TEL : 059-366-0888 FAX : 059-366-0877
E-Mail : office@madecom.co.jp
URL : https://www.madecom.co.jp
発行：2026年10月1日 編集・作成：早川尚孝